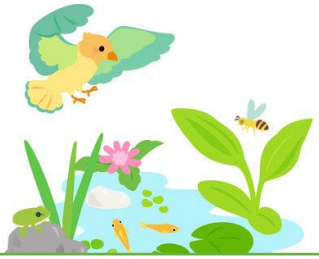
8月の園だより

令和６年８月１日
目黒区立菅刈保育園長

土曜日の園庭では、タライに水を張って水遊びが始まりました。最初は水の感触を楽しみながら容器の移し替えをしていたのですが、容器に泥がついていることに気付いた５歳児クラスの子が「ここがこんなに汚れてる。洗いたいな」と言ってくれました。「洗ってくれるの。すごく助かる」と答えると「いいよ」と張り切って砂場の容器を洗い始めます。それを見ていた ３ 歳児クラスの子も“自分も”というように洗い始めました。「こっちはシャベルね」「こっちはコップ」とやり方を教えています。しかし、最初は楽しんでいたものの、段々飽きてきたようで、違う遊びに移ってしまいました。どうするかなと様子を見ていたら「もう」と言いながらも黙々と洗い続けてくれて、気が付けば沢山の容器を全部洗ってくれていました。

また、他の５歳児クラスの子は、ペットボトルに水と朝顔の花を入れて色水を作り始めました。そこにも興味を持った、３歳児クラスの子が「何それ」「やりたい」と言って、ペットボトルを手にしています。しかし、どうしたら良いか分からないようで、ずーっと後をついて回っています。最初は、自分の色水を見せるだけでしたが、出来ないことを知り「ここの花を取ると良いよ」「いっぱい振るんだよ」「ほら、こっちもあるよ」等色が出やすい花を見つけて取り、最後には一生懸命振りながら色水を作ってくれました。砂場道具洗いや色水作り等ちょっと大変そうと思いながらも、頼られることを嬉しく思って接してくれているのだと感じました。また、３ 歳児クラスだけでは実現しない遊びも、５ 歳児クラスと一緒ならできることを子どもたちは実感しています。土曜日ならではの小さな集団を意識し、異年齢での関わりを深めていきたいと思います。

今月は夏の生き物や植物との出会いも子どもたちの好奇心を高め、感性を育みます。夏の遊びを通して子どもたちは普段とは異なる経験を保育士や友達と話し、遊びの中で再現することを楽しめるようにしていきます。



菅刈通信

今月は菅刈の自然係より
園庭の様子をお伝えします。

【園庭の花や虫が、子どもたちの身近な遊び相手】になるように、春は菜の花プランター、夏はアサガオトンネル等、園庭に四季の自然を取り入れ、子どもが自由に取って遊びに活かせるような環境を目指しています。

昨年度には水ビオトープを作りました。花菖蒲が咲いたり、メダカとエビの住処になったりしてきています。季節が巡り、トンボが飛んでくることが待ち遠しいです。

8月の予定

身体計測（幼児）
身体計測（乳児）
プールじまい
中旬　避難訓練

むしむしクイズ！
どっちがワラジムシ？ダンゴムシ？

答えはお子さんに聞いてみてください！

今月は０，２，４歳児の
水遊び、プール遊びの
様子をお伝えします。

水面を叩いたり、かき回したりして
冷たさを味わっています。

シャワーの水に手を伸ばして
触ろうとしています。

つぼみ組（０歳児クラス）

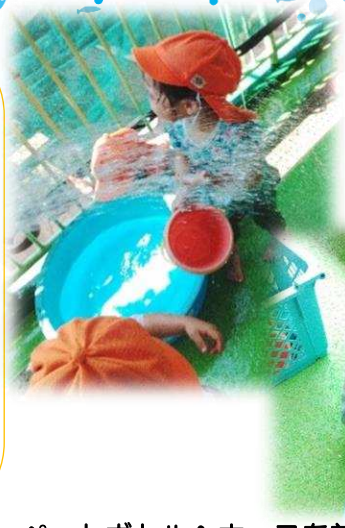
保育士がペットボトルのシャワーを上から流すと“なんだろう” と不思議そうに手を伸ばしている子どもたち。水の冷たさが気持ち良かったのでしょう。ニコッと笑顔を浮かべていました。遊びが大胆になってくると水をかき混ぜて水の流れる様子を見たり、水面をパシャパシャ叩いたりして「キャーッ」と声を上げていました。

しぶきがたくさん飛んできてもへっちゃらで楽しんでいます。

ひまわり組（２歳児クラス）

たっぷりと溜まった水の水面を叩いて水しぶきをあげ顔に水がかかるのを楽しんでいます。近くにあったペットボトルを沈めて「ブクブクってした」と思いを言葉にして、ブクブクと泡がでてくるのを喜んでいます。一人一人がじっくりと好きな遊び方で楽しんでいます。

今後は、絵の具を手で伸ばしてペイントしたり、氷の冷たさを感じながら溶けていく不思議さを感じたり、２色の色水を混ぜて色の変化を楽しんでいきたいと思います。



いろんな色水を並べて見比べています。

ペットボトルへホースを差し込み、
水が溜まるか興味津々です。

みんなでつながって歩いています。

うさぎ組（４歳児クラス）

子どもたちから「プール遊び楽しい」という声が日々聞こえてきます。友達が顔を水につける姿を見て真似して挑戦する子がいたり、顔を水につけられると「出来た」と嬉しそうに友達や保育士に知らせたりする姿も見られるようになってきました。

子どもたちのやってみようとする気持ちを大切にし、できるようになった事を一緒に喜び合いながら自信に繋がるようにしていきたいと思います。

友達同士水をかけあって
楽しんでいます。